

日本堆積学会 2017年松本大会 プログラム

<日 時> 2017年3月25日(土)～28日(火)

25日(土) ワークショップ(2コース)

26日(日): 個人講演, 特別講演, 総会議事, 懇親会

27日(月): 個人講演, 最優秀口頭・ポスター発表賞授賞式, 堆積学トーク・トーク

28日(火): ポスト巡検「真田氏の基盤となった地質と地形をめぐる」

<会 場> 信州大学理学部講義棟ほか

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/access/>

3月25日(土) ワークショップ(2コース)

<1> 「論文の書き方と発表における図面作成技術」信州大学自然誌科学館共催

場所・日時: 信州大学理学部講義棟11番講義室 13:00～17:00

講師: 武藤鉄司氏(長崎大学)・笹岡美穂氏(Sasami Geoscience)

<2> 「基礎の水理実験と粒度分析」

場所・日時: 信州大学理学部C棟5階 R512(学生実験室2)およびR510(粒度分析室)
9:30～15:00

講師: 村越直美氏(信州大学)

3月28日(火) ポスト巡検

「真田氏の基盤となった地質と地形をめぐる」

集合: 松本駅周辺 8:30 解散: 上田城付近 17:00, 松本駅 18:30予定

講師: 保柳康一氏・村越直美氏(信州大学)

3月26日(日)

会場：信州大学理学部講義棟1階講義室(1) 建物への入館は08:30から可能です

9:00-9:05 会長挨拶 高野 修

<口頭発表の部>

【座長：横山由香】

01 9:05-9:25 南相馬市小高区における2011年東北沖地震津波の堆積物の特徴と津波被害の関係

太田勝一・保柳康一(信州大)

02 9:25-9:45 陸上津波堆積物に含まれるマッドクラスト

清水康博・茂野 玲(新潟大)・

羽鳥祐香(前橋市立第六中学校)・ト部厚志(新潟大)

03 9:45-10:05 八丈島における巨礫群の崖上への打ち上げ過程の数値的検討

渡部真史・後藤和久・今村文彦(東北大)・

菅原大助(ふじのくに地球環境史ミュージアム)・

中村教博・外崎貴之(東北大)

休憩(10:05-10:15)

【座長：清家弘治】

04 10:15-10:35 潮汐卓越型のデルタとエスチュアリー堆積モデルの再構築

齋藤文紀(島根大, 産総研)

05 10:35-10:55 Facies and sedimentary processes along the fluvial to marine transition zone of the mixed-energy Mekong River delta, Vietnam

Marcello GUGLIOTTA (GSJ, AIST)・

Yoshiki SAITO (Shimane Univ., GSJ, AIST)・

Van Lap NGUYEN・Thi Kim Oanh TA (VAST)・

Rei NAKASHIMA・Toru TAMURA (GSJ, AIST)・

Katsuto UEHARA (Kyushu Univ.)・

Kota KATSUKI (Shimane Univ.)・

Seiichiro YAMAMOTO (Fukui Commercial High School)

06 10:55-11:15 カットアンドフィル堆積物の高分解能年代測定による海浜侵食履歴の評価：オーストラリア南西部 Bengello Beach の例

田村 亨(産総研)・Thomas S. N. Olliver・Colin D. Woodroffe・

Alastair C. Cunningham (ウロンゴン大)

休憩 (11:15-11:20)

【座長：片岡香子】

<ポスター発表ショートトーク： 奇数番号の講演> 11:20-11:56

1件あたりの講演は3分以内とします。

昼休み (11:56-13:10)

<ポスター発表の部> 13:10-14:30

3月26日(日) 8:30より掲示できます。3月27日(月) 17:00までに撤収をお願いします。

- P1 北浦流入河川河口地域における粒度分布特性
榎木田浩孝・山口直文 (茨城大)
- P3 海浜礫の形状
宮田雄一郎・末弘美咲 (山口大)
- P5 ハンモック状斜交層理砂岩の波長や粒径の比較による過去の台風強度の復元
隈 隆成・長谷川精 (名古屋大)
- P7 PIV計測によるサージ的混濁流の流速分布と性質
宮井正智・山野純平・横川美和 (大阪工業大)
- P9 サージ的混濁流によって形成されるサイクリックステップの発達と形態
山野純平・宮井正智・横川美和 (大阪工業大)
- P11 長野県安曇野市明科東方込地向斜南部の新第三系の堆積システム
鈴木雅史・保柳康一 (信州大)
- P13 出雲市多伎町周辺に分布する大森層の堆積環境
松澤ひかり・酒井哲弥 (島根大)
- P15 岩手県広田湾における3.11津波堆積物の粒子特性
横山由香・坂本 泉・堤 康祐・八木雅俊・藤巻三樹雄・
根元謙次 (東海大)・笠谷貴史・藤原義弘 (JAMSTEC)
- P17 背後に崖がある沿岸低地における津波堆積物の形成過程と分布：水路実験による検討
山口直文 (茨城大)・関口智寛 (筑波大)
- P19 島根県中部中新統牛切層砂岩に見られる特異なマッドクラストとその意義
小林未季・酒井哲弥 (島根大)
- P21 流水中における骨の運搬・堆積過程
桂平絢美・北沢俊幸 (立正大学)
- P23 海底におよぶ津波の影響 -日本海北部海域の複数の波源，古海水準条件による検討-
仁科健二 (道総研地質研究所)

<口頭発表の部>

【座長：保柳康一】

OP1 14:30-15:15 特別講演：私の堆積学的な研究経験から－砂岩組成，粒度分析，有機炭素量測定－

公文富士夫（高知大）

休憩（15:15-15:25）

【座長：高清水康博】

07 15:25-15:45 生産－運搬過程における砕屑粒子の岩質－粒径－形状の関連性：渡良瀬川支流を例に

宇津川喬子・白井正明（首都大）

08 15:45-16:05 横ずれ断層による河川地形の成因

李川葉瑠香・北沢俊幸・相良雅也（立正大学）

<総会> 16:10-17:10

<懇親会> 18:00-20:00 信州大学大学生協 旭会館 1F 食堂

3月27日(月)

<口頭発表の部>

【座長：山口直文】

- 09 9:00-9:20 降雨侵食と隆起による実験地形発達における堆積域幅の効果について
大内俊二(中央大)
- 010 9:20-9:40 ポットホールの形成実験
杉山 修・北沢俊幸(立正大学)
- 011 9:40-10:00 海底網状チャネルの水槽実験を用いたトレーニングイメージの構築
小松侑平(JOE)・Ajay Limaye(ミネソタ大学)・
鈴木清史(JOGMEC)・Chris Paola(ミネソタ大学)

休憩(10:00-10:10)

【座長：西田尚央】

- 012 10:10-10:30 遠州沖半遠洋性堆積物コア試料で確認された20世紀半ばにおける堆積速度
の低下
白井正明・宇津川喬子(首都大)・大村亜希子(東京大)・
林崎 涼・加藤裕真(首都大)・芦 寿一郎(東京大)
- 013 10:30-10:50 南海トラフで掘削されたメタンハイドレート胚胎コア試料の熱物性測定方
法,及び上載圧依存性を評価するための装置開発
村岡道弘・山本佳孝(産総研)
- 014 10:50-11:10 猪苗代湖底コア堆積物に挟まる火山性密度流イベント層から復元する高頻
度噴火とラハール履歴
片岡香子(新潟大)・長橋良隆(福島大)

休憩(11:10-11:15)

【座長：宇津川喬子】

<ポスター発表ショートトーク：偶数番号の講演> 11:15-11:48

1件あたりの講演は3分以内とします。

昼休み(11:48-13:10)

<ポスター発表の部> 13:10-14:30

3月26日(日)8:30より掲示できます。3月27日(月)17:00までに撤収をお願いします。

- P2 広島県三原市沖の砂浪移動速度
大平 亮(オーシャンエンジニアリング株)・井内美郎(早稲田大)

- P4 茨城県霞ヶ浦西浦湖岸平野堆積物への光ルミネッセンス年代測定法の適用
羽田一貴（茨城大）・伊藤一充・
田村 亨（産総研）・山口直文（茨城大）
- P6 ネパール・カトマンズ盆地の地層に残された地震記録
酒井哲弥（島根大）・ガジュレル アナンタ（トリブバン大）
- P8 琉球諸島中部周辺海域の黒潮の影響を受けたコンターライト
西田尚央（東京学芸大）・板木拓也・
天野敦子・片山 肇・佐藤太一（産総研）
- P10 ニュージーランド沖カンタベリー堆積盆地における震探-コア対比に基づく更新統堆積
シーケンスの形成過程
角張友律・保柳康一（信州大）
- P12 中部更新統蒜山原層の湖成縞状珪藻土に挟在する洪水重力流堆積物の分布と堆積相
佐々木華（福岡大）・
佐々木泰典（アサノ大成基礎エンジニアリング）・
石原与四郎（福岡大）
- P14 関東平野猿島台地南部，筑波台地，下総台地北西部に分布する上部更新統下総層群常総
層の堆積相と年代
秋山大地・須貝俊彦（東京大）・岡崎浩子（千葉県中央博）・
中里祐臣（農研機構）・大井信三（産総研）
- P16 三陸内湾底に見られる津波堆積物の保存ポテンシャル
清家弘治・白井厚太郎（東京大）・
窪田 薫（名古屋大）・小林元樹・伊藤 萌（東京大）
- P18 谷津干潟の潮流口における地形とアオサの関係
谷口健太・北沢俊幸・白木洋平・
李 盛源（立正大学）・千賀有希子（東邦大学）
- P20 2015年9月鬼怒川大水害による浸食・堆積過程
松本 弾・澤井祐紀・行谷祐一・谷川晃一郎・
中村淳路（産総研）・山田昌樹・篠崎鉄哉・竹田大輔・
藤野滋弘（筑波大）・Jessica E. Pilarczyk（南ミシシッピ大）
- P22 荒川低地地下に分布する河川砂体の特徴
石原与四郎（福岡大）・小松原純子（産総研）

<口頭発表の部>

【座長：小松侑平】

- 015 14:30-14:50 Bouma モデルの平行ラミナシルト岩（Td）の成因
山田立輝・小田陽平・青柳裕香・伊藤 慎（千葉大）

016 14:50-15:10 南部琉球列島，八重山前弧の海底谷-海底扇状地系とタービダイトの堆積間隔

池原 研（産総研）・金松敏也（海洋機構）・

宇佐見和子（産総研）

017 15:10-15:30 相対的海水準変動に依存する細粒碎屑物の供給源変動:更新統掛川層群の例

齋藤 有（地球研）・酒井哲弥（島根大）

休憩（15:30-15:40）

【座長：齋藤 有】

018 15:40-16:00 海底扇状地の生涯シナリオ：形状タイプの時空変化傾向と規制要素（予察）

高野 修（石油資源開発）・徳橋秀一（産総研）

019 16:00-16:20 薄層タービダイトに含まれる有機物および石油根源岩能力の堆積学的特徴-

新潟県八石背斜に掘削された東条 TS-1 号井の下部寺泊層コアの予察-

荒戸裕之・千代延俊（秋田大）・保柳康一（信州大）

<事務連絡> 16:25-16:35

<最優秀口頭・ポスター発表賞授賞式> 16:35-16:50

<堆積学トーク・トーク> 17:00-19:00

会場：講義棟 8 番教室

注意事項

<口頭発表>

*口頭発表は発表 16 分，質疑応答 4 分です。発表時間を厳守して下さい。

*口頭発表は液晶プロジェクターの使用を標準とします。講演で使用する PC については，講演者に後日，直接お知らせします。

<ポスター発表>

*ポスターは 26 日と 27 日の 2 日間に渡って掲示することができます。ポスター 1 件あたりの展示可能スペースは縦 180cm×横 90cm(縦長)です。画鋲は会場にも用意してあります。ポスターには，必ずポスター番号を記入して下さい。はぎ取り標本など重量物の展示を希望される方は，事前に行事委員会までお知らせください。

*ポスター発表のショートトークは 1 人 3 分以内でお願いします。液晶プロジェクターを使用し発表する場合，使用するスライドはタイトルスライド以外に 2 枚でお願いします。なお講演を円滑に進めるために，用意して頂いたスライドはあらかじめこちらで 1 つのファイルにとりまとめます。

<写真・ビデオ撮影の制限>

*本大会における全ての講演の様子や内容について（口頭発表・ポスター発表など），発表者に無断で写真撮影・ビデオ撮影することを禁止します．撮影には発表者の許可が必要です．また，それらを発表者の許可なく SNS 等で配信することを禁止します．